

環境変化に挑む！熱き中小企業経営者たちの変革

—事業の存続・発展・変革へ向けて引き継がれる“変化対応のDNA”—

信金中央金庫 地域・中小企業研究所 上席主任研究員

鉢嶺 実

(キーワード) 中小企業、経営者、環境変化、事業継続・発展・変革、事業ライフサイクル、SWOT分析、アンゾフの経営戦略マトリクス、マイケル・ポーターの競争戦略、ランチェスター戦略

(視 点)

中小企業は、わが国の全事業者数の99%以上を占める地域経済社会の主要な構成員であり、地域経済に根差す全国各地の信用金庫にとっても、貸出金の約7割を占める主要な取引先であると同時に、共に地域経済を支える同志でもある。

信金中央金庫 地域・中小企業研究所では、1994年の発足以来、中小企業の経営動向などを主要な調査研究テーマのひとつに掲げ、地域事情を熟知している信用金庫役職員らと連携しながら、全国津々浦々で躍動する中小企業経営者への訪問取材を数多く実施してきた。

本稿は、これらの過去取材先の中から11社を厳選し、環境変化に挑み続ける経営者の取組みという観点から再度の訪問取材を実施し、あらためてマーケティング関連のキーワードと共に最新の経営事例として紹介するものである。

(要 旨)

- 中小企業をとりまく事業環境の変化は極めて多岐にわたっており、事業ライフサイクルも勘案しながら、これに的確に対応していくことの重要性が高まっている。
- 環境変化へ対応して“次の一手”を打ち出していくうえでは、自社の強みを最大限に活かすべく、その方向性なども含めて戦略的に検討していくことが求められる。
- 中小企業は、大手企業との比較において厳しい経営状態にあるとみられがちではあるが、その弱みとは裏腹に、中小企業ならではの強みがあることも見逃してはならない。
- 本稿で紹介した中小企業経営者の取組み事例を振り返ると、それぞれ経営者自らが外部環境の変化を見据えた変革の先頭に立ち、独自の存立基盤を築き上げている点で共通しており、極めて示唆に富んでいた。
- また、変化対応をリードしているのは、現経営者のみならず、先代経営者からの取組みであったり、さらにそれ以前からの取組みであったり、あるいは次世代へつないでいくような局面であったりと、何らかの形で“変化対応のDNA”を世代を超えて社風として受け継いでいる状況を見ることもできた。
- 中小企業は、今後も環境変化に対応し続けることで目下の存立基盤の持続可能性を高め、さらなる事業存続・発展・革新へつなげていくことが求められよう。